

作曲・コンピュータ音楽公開講座  
講師：アレハンドロ・ヴィニャオ

2022年7月11日（月）18:00 開演（17:30 開場）  
会場：国立音楽大学 新1号館 142 オーケストラスタジオ  
入場無料・要整理券  
通訳：小森 邦彦

整理券の申込方法は本学公式 Web サイトをご確認ください。（7/4（月）10:00 より先着順とし、定員に達し次第締切）

自作を語る～打楽器作品とマルチテンポラリティとポリリズム書法

～～プログラム～～

ストレス&フロー より“ブライツ&ダーク” ～打楽器カルテットとエレクトロニクスのための～

‘Bright & Dark’ from Stress & Flow quartet for percussion and electronics

演奏：N Percussion Group（岩間美奈、小林美里、森次侑音、渡邊偉大）

カーン・ヴァリエーションズ ～ソロマリンバのための～

Khan Variations for solo marimba

演奏：渡邊偉大

～～講師プロフィール～～

アレハンドロ・ヴィニャオ Alejandro Viñao

アレハンドロ・ヴィニャオはアルゼンチンでロシア出身作曲家ジェイコブ・フィッシャーに師事。その後1975年にロンドン王立音楽院に学び、ロンドン大学シティ校で博士号を取得。これまでアルス・エレクトロニカにて金賞、ユネスコ世界音楽賞インターナショナル・ロストラム・オブ・コンポーザーズ第一位、グッゲンハイム・フェローシップなど多くの受賞歴がある。ヴィニャオの音楽はタングルウッド音楽祭、ロンドンプロムスなどの世界的な音楽祭や放送で多く取り上げられている。またこれまで欧州、北米、日本などでポートレートコンサートが開かれており、彼の作品は欧米の大学のカリキュラムにおいて研究対象として頻繁に取り上げられている。作品の委嘱は世界の多くの組織やグループから受けており、その中に仏IRCAM、米MIT、英BBC交響楽団、ラジオフランスが含まれる。ヴィニャオは広範囲に渡って音楽創作を行っており、オペラ、ミュージックシアター、合唱、管弦楽、エレクトロアコースティック作品を含む。また英BBCのために20以上の映像作品にマルチメディア音楽を書き続けている。

※ 就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。  
※ 公開講座開催に際しまして留意事項がございますので、本学公式Webサイトよりご確認ください。  
※ やむを得ない事情により出演者や内容等が変更になる可能性がございますので、予めご了承ください。

主催/国立音楽大学 コンピュータ音楽専修運営会 弦管打楽器専修運営会  
招聘・制作協力/Stick Vox Klavier 有限会社小森企画

お問合せ：国立音楽大学演奏芸術センター 042-535-9535 <https://www.kunitachi.ac.jp/>

